

# 青梅市図書館を使った調べる学習コンクール

## 調べる学習のすすめかた

青梅市中央図書館

### ①何を調べる？ ～テーマを決めよう～

#### 1. テーマを決める時のポイント

**\*興味のあることからみつけよう。**

・なんてだろう?って思ったことはないかな?

トマトはなぜ赤い? 海はなぜしょっぱいの?

キリンの首はなぜ長い? 塩はいつから使われていた?

・好きなもの、好きなことの中からはてな?をさがそう。

好きな食べ物、スポーツ、のりもの、動物、人物、

アニメ、マンガ、音楽、ゲーム

・身近ことの中からはてな?をさがそう。

学校で習ったこと、おうちにあるもの、

テレビや新聞、本で見つけたこと、お出かけ先で見つけたこと

**\*調べたいものの中からさらにしぼりこもう。**

・テーマが大きすぎるとまとまりにくいので細かくしてみよう。

例: 水(大きいテーマ)→水道水(中くらいのテーマ)→

どうして水道水は飲めるのか?(細かいテーマ)

・どうして?どうやって?なぜ?など、はてな?の形(疑問形)にすると

テーマがしぼりこみやすいよ。

例: 「恐竜について」ではなく「恐竜はどういう進化をしたのか?」

**\*テーマが決まらないときは、好きな本をみてわかったこと、疑問に思ったことなどを  
みつけてからテーマを決めるのもいいかもしれないね。**

#### 2. このテーマにしたのはなぜ?

**\*まとめるときに、自分がこのテーマを選んだ理由、きっかけを書きます。**

・テーマについて興味を持ったきっかけなどをメモしておくといいよ。

#### 3. 疑問に思ったことのを予想してみよう。

**\*調べる前に、自分なりの考えや知識をつかい、疑問に思ったことのを答え、結果を予想してみよう。**

・まとめるときに、予想→調べた内容→答え(結果)→感想(考察)の順に

書くとまとめやすくなるよ。

## ② 調べるときのポイント ～いろいろな調べ方～

### 1. 本で調べよう

\*2～3冊の本を調べて、書いてあることをくらべてみよう。

・1冊だけでは調べられなかったことがわかるかもしれないよ。

\*百科事典をみてみよう。

・百科事典は50音順で「もの」や「こと」について調べられる。写真やデータものっているよ。

\*最新の情報かな？ 調べる本が出版された年や何年前のデータなのかを確認しよう。

・「新種が発見された」「ランキングが変わった」「ルールが変わった」など、今と昔でちがうこともあるから、調べる本を探すときにたしかめよう。

### 2. インターネットで調べよう ～そのWebサイト、その情報、本当に正しい？～

インターネットを使うといろんな情報が出てくる。どれが正しいか迷ったら、次のポイントをチェックしてみよう。

\*公的機関や専門施設など、信頼できるWebサイトか確認しよう。

例：青梅市観光協会、青梅市郷土博物館

\*情報を書いている人は専門家？ プロフィールを見てみよう。

\*いつの情報を書いているかわかる？ 更新日をたしかめよう。

### 3. 新聞で調べよう

\*調べた新聞記事は、参考文献リストに書こう。

\*図書館では、過去の全国紙の新聞記事も調べられるよ。

自分でたしかめたいときは、こんな調べ方もあるよ。

### 4. 実際に行ってみよう

\*博物館、資料館などの施設見学や工場見学に行ってみよう。

\*パンフレットなども読んでみよう。写真を撮るときは、撮影可能か確認すること！

### 5. インタビューしよう

\*まずは相手に、何のために話を聞きたいのか説明し、インタビューをしていいか聞こう。

\*質問を決めておき、時間を守ってインタビューしよう。会話を録音するときには相手に確認すること！

\*インタビューした人に、名前や職業などを作品に書いていいかどうか、たしかめること！

### 6. 実験や観察をしてみよう

\*はじめに、何を調べるのか、どんなふうに進めるのか、何回やるのかなど、実験や観察の計画を立てよう。

\*写真を撮るときは、日付、時間、場所、天気、気温、撮影した人などを記録しておこう。

\*実験や観察の参考にした本やWebサイトについても、参考文献リストに書こう。

### ③ 参考文献リストをつくろう

#### 1. どうして「参考文献リスト」をつくらなきゃいけないの？

- ・この情報が「どの本」の「どこに載っていたか」を伝えるため・忘れないため
- ・本の情報は誰かが調べたり、考えたりしたことなので、それを「参考にしました」と伝えるため  
→これは、著作権(その考えや文章を書いた人の権利)を守るための大切なルールです。人が調べたことや考えたことを、勝手に使う(盗む)ことはしてはいけません。

#### 2. 参考文献リストのつくりかた

- ・リストにある項目は埋めよう。「わからない」「全部」とは書かないように。
- ・出版年や出版社名は本の「奥付」に書いてあります。

#### 記入例(図書)

著者名	書名	出版社名	出版年	使ったページ	図書館名 請求記号
青梅市教育委員会／編	おうめ文化財さんぽ	青梅市教育委員会	2019	p.6-7、p.84	青梅市中央図書館 290 オ

#### 記入例(新聞)

記事を書いた人の名前	新聞記事名	新聞紙名	出版年月日	朝夕刊	ページ
		西の風	2021.1.23	夕刊	3面

#### 記入例(WEB ページ)

WEB ページを制作した人・団体	WEB ページ名	WB サイト名	最終更新年月日	URL	最後に見た年月日
青梅市図書館	「裏宿七兵衛」が映像になりました	青梅市図書館	2021.1.23	<a href="https://www.library.ome.tokyo.jp/news/?id=133">https://www.library.ome.tokyo.jp/news/?id=133</a>	2021.5.30

#### ヒント! 参考文献リストはすぐに作ろう

参考文献は、調べた時や、調べたことをまとめながら一緒に書いておこう。また、一度本を返却しなければいけないときも、奥付の内容をメモしておけば、もう一度図書館で本を探すときに役に立つよ。

## ④ まとめよう

### 1. 表紙をつけよう

- ・タイトル(題名)と学年、名前を書こう。
- ・読んでみたくなるようなタイトルをつけよう。

テーマを別の言葉で言い表すとどんなタイトルになるかな。

例:「恐竜はどんな進化をしたのか?」→「恐竜は今も生きている!?!」

### 2. 目次をつけよう。

- ・作品の何ページに何が書いてあるのかを表します。
- ・目次は表紙の次につけますが、書くのは作品が全て出来上がってページが決まってからにしよう。

### 3. 調べた理由を書こう。

- ・なぜそのことを調べようと思ったのか説明しよう。

例:「～だから調べようと思いました。」「～なので調べたいと思いました。」

### 4. 調べたことを書こう。

- ・予想、調べ方の説明、本に書いてあったこと、答えをだすためにしたことなどを書こう。

**\*調べたことを書くときに、どうしても本の文章や写真、グラフをそのまま使いたいときは引用しよう。**

～引用の書き方～

- ・文章を引用するとき

使いたい文章を「 」の中に書き、その後に(著者名、書名、出版社、出版年、ページ)を書きます。

例: 本で調べたらこう書かれていました。

「植物によっては標高 6150mもの高地でも育つことができる。」

(サラ・ホゼ、世界の植物大図鑑、河出書房新社、2020、P105)

- ・図、絵、グラフ、写真を引用するとき(コピー、書き写しなど)

図や写真を書いたりはったりした近くに(著者名、書名、出版社、出版年、ページ)を書きます。

例:



### 5. まとめよう。

(花火プロジェクト、「花火のひみつ」、青梅出版、2020、P15)

調べたことについての答え、結果、感想、考察などを書こう。

結果をもとに、つぎに調べてみたいこと、もっと調べてみたいことなども書くのもいいね。

### 6. 参考・引用文献リストを書こう。

調べた本、引用した本の著者名、書名、出版社名、出版年、ページ数など、必ず書こう。

## ⑤ 提出前にチェックしよう

- 見直しはしましたか
- 目次は作成しましたか
- 参考・引用文献リストはきちんと記入してつけていますか。
- 応募カードをきちんと記入しましたか。

わからないことや困ったことがあったら図書館のカウンターできいてください。